

発表者4

ウィルダン アブディ ラーマン



●出身・ルーツ

インドネシア

●日本に来たのはいつ？

2013年5月

●日本語を勉強している期間は？

2年間

●発表者コメント

日本に来たばかりのころ、日本語の間違えを恐れ、声が小さくなってしまいました。なので、コミュニケーションミスをしてしまうことがありました。間違えても、むずかしくて、覚えにくくても堂々と日本語でスピーチして伝えていきたいです。

● 推薦者コメント 【公益社団法人 日本・インドネシア経済協力事業協会 廣田恵美 様】

職場のフットサルチームにも所属し、活動的です。スポーツを通じて声をかけあい、気持ちを共有して人間関係を築いています。楽しみながら、文武両道を果たしている姿がとても生き生きと輝いています。技能実習生として最後の年を迎え、想いを言葉に経験を自信にしてスピーチをつくると意気込んでいます。

スピーチタイトル 「日本にいるから日本語が必要なのです」

日本に来る前、4ヶ月ぐらいインドネシアにある研修センターで日本語を勉強しました。その頃はとても大変でした。そこでは、ただ日本語だけではなく、日本の文化や生活なども習いました。最初、一番難しかった日本語の勉強はひらがなとカタカナを覚えることでした。覚えきるまで、毎日毎日、食事をしている時も、水浴びをしている時もひらがなとカタカナを勉強していました。インドネシアと違って、日本ではローマ字を使わずにひらがなとカタカナを使っています。ですから言葉や単語や文法を勉強する前にはひらがなとカタカナを覚えなければなりません。

あの4ヶ月は本当に忘れられない時期だと思っています。研修センターでの日本語の勉強は終わりましたが、その後も自分で勉強を続けました。

二年前の5月の末、日本に着きました。成田センターというところでまた日本語や文化や生活などを習いました。今度はボランティアの日本人から教えてもらいましたが、前と全然違っていました。インドネシアで勉強した時よりも日本で勉強した時の方がもっと難しかったです。なぜなら、以前教わった人はインドネシア人でしたが、今度は日本

人になりました。今まで知らなかった色々なパターンを勉強しました。英語とか辞書とかを使って今まで分からなかった言葉を覚えしました。言語というのは難しいものだと思います。私にとって、言語は人間を一番完璧なものにすると思います。なぜなら言語がないと頭から何か相手に言いたいこと、伝えたいことができなくなって、コミュニケーションがとれません。そんなことを考えますと言語を作った人はすごい人だと思います。

成田センターでの約一ヶ月の研修のあと、初めて会社に行きました。最初は新入社員ですから工場、安全、仕事のことを説明してくれました。それは全部日本語での説明でした。でも成田センターからインドネシア語の出来る日本人と一緒に来てくれたので、分からない時はその日本人にすぐ聞きました。しかし、それはたった一週間だけでした。その後は自分の日本語の力で頑張っていくしかありませんでした。まだペラペラしゃべれないし、いつも言うことをまちがえるのではと思うとはずかしくて言えなくなりました。言う時も自然と小さい声で言っていました。あのときの気持ちは本当に情けなかったです。小さい声で言うので、時々コミュニケーションがとれなくなって本当に困ったことになり、今考えると、それは一番良くないことでした。

コミュニケーションミスがあったことがあります。それは、ある日仕事の時、先輩から「機械の水いっぱい入れて下さい。」と言われましたので、私はいっぱいって、機械のタンクに水を入れてタンクから溢れないぐらいと思い、リミットぎりぎりまでという意味のことと思いましたがそれは間違いでした。先輩の「いっぱい」って、いつも使っているジョッキの一本で入れてということで、先輩があまり優しくないので怒られました。あの時は最初で仕様がなと思いでしたが、あれから、先輩から指示があった時は、私は先輩の指示をもう一回確認して、「OK」だったらやって、もしだめだったら先輩がもう一回言ってくれるようになりました。それからの日本の生活では、「確認」を間違いなくするようになりました。これは良い習慣だと思います。

ですから、難しくても覚えにくくても、間違いのせいで怒られても、英語と違って日本語は、日本にいれば頑張ればきっと出来ます。せっかく日本にいるのに日本語を上手になりたいと思います。一緒に日本語をしんけんに習いましょう。

以上で私のスピーチは終わります。ご清聴ありがとうございました。

● 来場者・発表者からの応援メッセージ

- 大きな声でどうどうとしたスピーチでした。これからも日本語をガンバって下さい。(すとう)
- 会う度話が広がりますね。これは失敗してもがんばって日本語を勉強している努力だとおもいます。勇気をもらいました。(廣田)
- わからないことをわからないと言える勇気の大切さがよくわかりました。コミュニケーションの基本は言葉かもしれませんが、わからないことをわからないと言える心と心とのつながりも重要ですよ。すばらしかったです。(すすき)
- ウィルダンくんへ AKU SIH YES!! (HAMBA ALLAH)
- 仕事と日本語の勉強は大変ですね。「確認」は大切です。楽しく勉強してください。
- 今日のスピーチは日本語の勉強のためにとてもいいきかいですね。これからもがんばってください。
- 日本語はむずかしいですよ。でも、がんばって勉強しました。これからもまだむずかしい日本語があります。負けずにがんばって勉強してください。
- 違う言語を勉強することはとても大変だと思います。違う言葉を一生懸命伝えようとすることが大切だと思います。私も同じような体験をしたことがあります。なので、頑張って下さい！(木村)
- 私も言葉は、とても難しいと思います。世界にはいくつの言語があるのでしょうか。ラーメンさんが日本語を習得していく苦労がとても伝わってきました。(佐々木)
- 言語！本当に大事ですね、あなたも私もこれからことばを大事に活していきたいですね。がんばって下さい。(木下)
- リファル(^\_^) ウィルダンくん Kerja yorg sangat bogur がんばる。
- インドネシアで4カ月学んでその後も自分で学習を続けたとのこと、本当に日本語を学びたい気持ち、志が高かったことに感動しました。失敗したことは、次の成功につながることを体験されたのです。とてもスピーチわかりやすかったです。
- まちがえると恥ずかしいから小さい声になったそうですね。小さい声だとたとえ正しくてもわからないと思います。大きくなってしっかりと話してまちがえは恥ずしくないですよ。(これは私が英語を話すときにも気をつけたいと思います)(加藤)
- 自分の考えている事を伝えるために言語が必要。そのためには自分自身が頑張らないと、という気持ちいつまでも忘れずにこれからも頑張って下さい。(山岡)
- とても上手な日本語でおどろきました。これからもどんどん情報を吸収してすてきな日本語を使ってね。(イクタ)
- 仕事をしながら日本語を学んでいるのです。今はラマダンでしょう。私たちにはラマダンはたいへんだらうと思います。